

授業科目 マルチメディア論

【担当教員名】 張 国珍		対象学年	3	対象学科	情報
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		○		○	
【概要・一般目標：G10】 単にコンピュータのみならず、放送・電話などといった幅広い分野でデジタル情報が扱われるようであった。マルチメディア情報処理と言われるゆえんである。この授業では、テキスト、画像、音声といったメディアの持つ特徴、それらを複合的に活用する技術、それらを現実のものとするハードウェア・ソフトウェア、それらと社会との関わり、などについての基礎的な知識を取得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. マルチメディア情報の基本的な考え方が説明できる 2. 文字・音声・画像を扱う基礎技術が説明できる 3. コンピュータグラフィックスを対象とする情報処理技術が理解できる 4. 文字・音声・画像の圧縮・応用技術が理解できる。 5. マルチメディア情報処理技術を支えているコンピュータハードウェアが説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、概説（マルチメディア論について）			1	
2	音のデジタル化			2, 4	
3	音声の性質			2, 4	
4	画像のデジタル化			2, 4	
5	色の表し方			2, 4	
6	画像の変換			2, 4	
7	画像の符号化			2, 4	
8	コンピュータグラフィックス：形状モデリング			3	
9	コンピュータグラフィックス：レンダリング			3	
10	文字フォント、文書処理			2, 4	
11	WWW とマルチメディア通信サービス			5	
12	ヒューマンインタフェース			5	
13	メディア処理ソフト：サウンド処理、テキスト処理			5	
14	メディア処理ソフト：グラフィックスソフトウェア			5	
15	マルチメディアと IT 社会			1	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		第二版 マルチメディアと情報化社会		インプレス	2010・3,360円
その他の資料		マルチメディア表現と技術	小館香椎子	丸善	2003・3,150円
		そこが知りたい最新技術 オーディオ・ビデオ圧縮入門	亀山 渉、渡辺裕、金子 格	インプレスR&D	2007・1,995円
		マルチメディア - 基礎から応用まで -		CG-ARTS 協会	2005・3,360円
		第二版 入門マルチメディア ITで変わるライフスタイル		インプレス	2010・2,625円
【評価方法】 成績は以下の項目によって総合的に評価する。 毎週の課題：40%、定期試験（持ち込み可）：50%、平常点（出席など）：10%		【履修上の留意点】			